HOT BOX

堺市消防局公式 Instagram

堺市消防局の「魅力」を随時配信中！

当消防局では、広報媒体としてインスタグラムを積極的に活用しています。
堺市総合防災センターで行われるイベント情報をはじめ、訓練の状況や火災予防に関すること、消防音楽隊のことや普段は見ることの少ない消防隊の一面等、幅広い内容をお届けしています。当消防局の今後の動向にご注目下さい！

堺消防署が移転され、新たに最新の防災拠点として生まれ変わったよ！

国際協力事業の一環で各国から消防・防災分野の関係者を対象とする救急救助技術の集団研修があったよ！

これらはほんの一部！インスタグラムでは動画もたくさんあるので是非フォローしてね！

HOT BOX

働きやすい職場環境の構築に向けて

私たちは、すべての職員が安心して働ける職場環境の構築をめざし、ハラスメント防止に向けた取組を強化しています。

具体的には、各職場に「ハラスメント相談員」１名以上を選任し、職員が気軽に相談できる体制を整備しています。ハラスメントに関する悩みがあれば、ハラスメント相談員として研修を受けた職員に相談することができます。

また、庁内ホームページには「ハラスメント目安箱」を設置し、職員がいつでも匿名で意見や相談を投稿できるようにしました。これにより、声を上げにくい状況でも安心して問題を提起できる環境を整えています。

今後も、誰もが尊重され、安心して働ける職場環境の構築に取り組んでまいります。

HOT BOX

堺市消防局災害活動支援隊

当消防局では、近い将来に発生が懸念される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震等大規模災害発生時に、同時多発する火災・救助・救急事案に迅速かつ的確に対応するため、平成 27 年９月１日に「災害活動支援隊」を発隊しました。

この災害活動支援隊は、本市の区域内で大規模な災害が発生した場合において、消防局長の命を受け、消防局及び消防署が行う消防活動を支援することを任務とし、本市の消防局 OB 職員で構成する組織です。

災害活動支援隊の令和７年４月１日現在の隊員数は、69 名となっています。

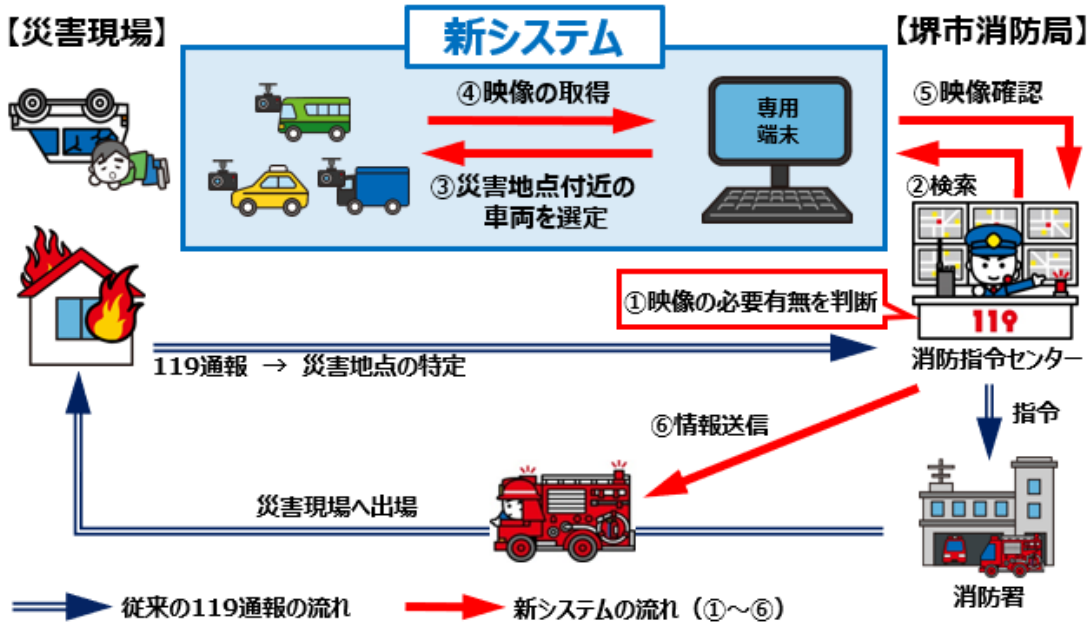
今後も住民の更なる安全・安心の確保と災害に強いまちづくりを推進してまいります。

HOT BOX

DRIVE RECORDER119

～迅速かつ的確な現場把握～

「DRIVE RECORDER119」は、当消防局とトヨタ自動車株式会社が共同実証により、本格運用したドライブレコーダーの映像を消防活動に活用する新たなシステムです。このシステムは、選択した車両のドライブレコーダーの映像を消防指令センターのオペレーターが閲覧できるもので、現場の状況を迅速かつ的確に把握するために利用されます。



① 消防指令センターのオペレーターが現場の映像を必要とする事案かどうか119通報から判断

② ①で必要と判断した場合、システムにて事案発生地点を検索

③ ドライブレコーダー装着車両のGPS情報を利用し、災害地点付近を走行する車両を選定

④ 対象車両のドライブレコーダー映像を閲覧

HOT BOX

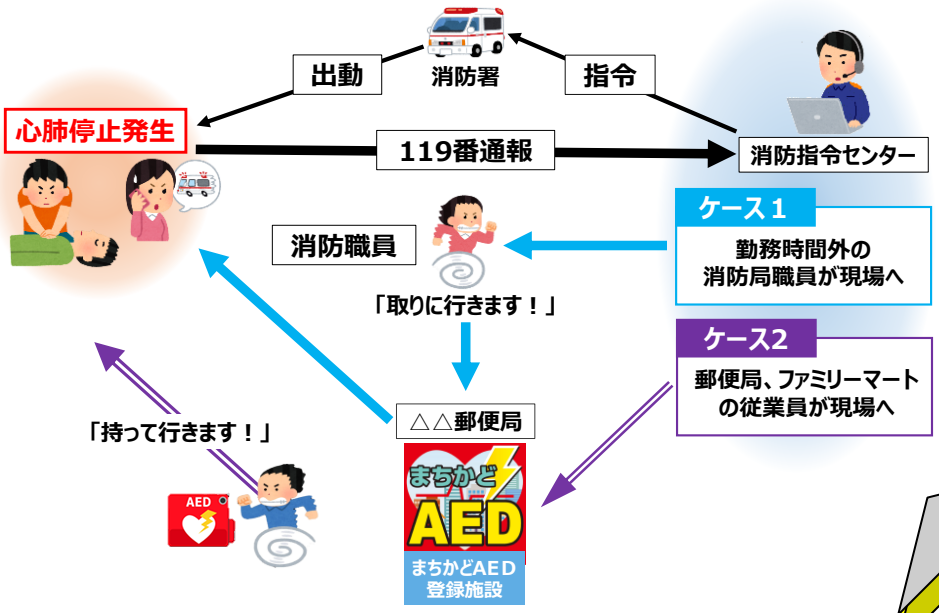
AED マッピング救命医療研究

－いち早く AED を届けるための仕組みを構築－

大阪公立大学、日本光電工業株式会社及びセコム株式会社と連携し、心肺停止傷病者のもとへ、いち早く AED を届ける仕組みを構築するための実証プロジェクトを実施しています。

令和６年 12 月 10 日～令和８年 12 月 31 日（予定）の期間、本市内全ての郵便局（101 施設）及び研究に賛同いただいたコンビニエンスストア（ファミリーマート８４施設）の計 185 施設に AED を設置し、「まちかど AED」として登録しています。また、心肺停止が疑われる救急要請があった際、消防指令センターから本研究にボランティアで参画する９０名の消防職員に発生場所等の情報をメールで通知します。救急車が到着するよりも早く現場に駆けつけることが可能と予想できる消防職員は、付近の AED を搬送し、心肺蘇生法などの救命活動を行います。

本研究により、心肺停止傷病者のもとへ、AED を届ける仕組みが救命率にどのように寄与するか検証・分析を行い、AED 設置の有用性を示すデータを収集することで、AED の設置と活用を更に推進し、救命率の向上に繋げます。なお、本研究は企業版ふるさと納税等を活用した大阪公立大学協創推進事業の一環として実施しています。



HOT BOX

火災の原因

令和６年中における当消防局管内の火災原因のワースト３は、たばこ、放火（放火の疑い含む）、配線器具でした。これらの火災を発生させないため、次のことに注意してください。

①たばこ

- 寝たばこは絶対にしない。
- 灰皿には水を張り、確実に消火する。
- 不完全に消火した吸い殻をゴミ箱等に捨てない。
- ポイ捨てはしない。

②放火（放火の疑いを含む）

- 家の周りに燃えやすい物を置かない。
- 空き家、物置などにはカギをかけておく。
- 車やバイクには防炎品のボディーカバーを使用する。
- 建物などの周りは照明などで明るくする。
- ゴミは指定の収集日に出す。

③配線器具

- コンセントは定期的に清掃する。
- 使用しないプラグは抜いておく。
- コードを折り曲げたり、踏みつけたりせず、異常があればすぐに交換する。
- たこ足配線はしない。
- 異常を感じた配線や機器は使用を控え、新しいものに交換する。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【番外編】

昨年はたばこによる火災が急増しました。たばこによる火災は個人個人が注意すれば防ぐことができる火災ですので、上記の注意事項を守り、火災を起こさないようにしましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

HOT BOX

「地域担当」活動報告

「地域担当」は地域における防火・防災に関する課題に柔軟に対応し、住民の防災力向上を図ることで、火災やその他の大規模災害による被害を軽減することを目的に、次のとおり取り組んでいます。

◆地域担当の主な役割

- 防災センターでの防災普及啓発
- 災害初期（72 時間）に住民が自助・共助により命を守る行動の強化
  ① 初期消火　②救出・救助　③応急救護　等
- 多様なニーズに対応した指導・育成

◆令和６年度の主な活動（消防局・南消防署）

段ボールジオラマを活用した啓発

赤坂台中学校学校群（総合的な学習の時間）

地域担当では、当消防局管内で催されるイベントでの防災啓発や、学校と連携した防災教育への参画などを行いました。

命を守る行動における技術的支援を進めていきます。

HOT BOX

危険物保安課では堺市電子申請システムによる申請・届出の提出を推進しています。

事業所の方々が消防機関に提出する申請や届出の電子化を図ることは、総務省消防庁が目標としている**『火災予防分野における各種手続の電子申請等の推進』**に寄与するもので、両者にメリットがあります。

【事業所側のメリット】

行政機関の窓口訪問等の軽減、書類の電子化による紙の削減・書類管理の効率化、申請データの再利用による再申請時の入力負担の軽減

【消防側のメリット】

業務システムへのデータ入力作業の省力化、申請書等書類の電子化に伴う紙の削減・書類の管理の効率化

なお、危険物保安課における令和６年の高圧ガス保安法の電子申請率は49.7%でした（480 件/965 件）。

PC だけでなくスマートフォンからも簡単に手続きが可能ですので、是非この機会にご利用下さい！！

詳しくは、HP をご確認ください。

https://lgpos.task-asp.net/cu/271403/ea/residents/portal/home

HOT BOX

堺市美原消防団の活動について

消防団は「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神のもと、地域住民の生命、身体、財産を守るため設置されており、消防団員は各自職業（生業）に就きながら、火災等災害の予防・警戒等をはじめ、地域住民への訓練指導等、様々な活動を行っています。

令和６年度の各種災害出場及び行事等参加実績は火災１回（延７人）、特別警戒 33 回（延 200 人）、演習・訓練等 87 回（延 1,081 人）、広報・指導３回（延 12 人）、その他 34 回（延 199 人）の合計 158 回（延 1,499 人）となりました。

令和６年９月８日の大阪府消防操法訓練大会(ポンプ車の部)出場し、敢闘賞を受賞しました。各種訓練を通して災害対応力の向上はもとより、安全管理の再徹底も図り、地域防災力を一層強化します。

大阪府消防操法訓練大会(ポンプ車の部)敢闘賞を受賞

泉北地区支部消防総合訓練

土砂埋没救助訓練